

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅰ	矢端 晴美	1年次	春

授業のキーワード	言葉と文化 日本語と国語 日本語の音
授業の概要	日本語話者にとっては普段何気なく使っている日本語です。外国語としての日本語という視点から、日本語を再認識します。「国語」ではあまり扱われなかった、他の言語と比較した日本語の特徴や音声を学習します。日本語教育に関心ある人は、この講義とともに、「日本語教授法Ⅱ」「日本語教授法Ⅲ」「日本語教育検定試験対策」も受講を勧めます。この講義は一連の日本語教育関連講義の入門編です。
期待される学習成果（目標）	1. 日本語で生活することによる 考え方をを知る。 2. 他言語と比較することにより日本語の特徴を知る。 3. 自分の日本語の発音に気づき、改善することができる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本文化と日本語（第1講）	外国人から奇異に見える日本人の言語行動。講師の経験したこと、様々な文献から、お話しします。第1回なので、講義全体の内容についても説明します。	第9講	日本語の音声（第3講）	母音「あいうえお」はどうやって音を作って出しているのでしょうか。鏡をみながら検証します
第2講	日本文化と日本語（第2講）	「あいさつ」って、何のためにするのでしょうか。たとえば日本人なら誰でも言う「おはようございます」の意味とは？またどの国でも言うのでしょうか？自分はどうして日々の挨拶をしているのでしょうか。	第10講	日本語の音声（第4講）	日本語の子音「か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ行」の音はどうやって出しているのでしょうか。声門、のど、口の中、鼻、唇をさぐってみましょう。
第3講	日本文化と日本語（第3講）	外国人の目に奇異にうつる日本語の樹形表現とは？中国語やタイ語との違いを考えます。	第11講	日本語の音声（第5講）	「か」と「が」は音を作る際、どこが違うのでしょうか。「ん」の音は一つでしょうか。
第4講	言語としての日本語（第1講）	「日本語はいまいだ」と言われますが、それは本当でしょうか？そういわれるのはどうしてでしょうか。また、日本語と他の言語と比べて、難しいのでしょうか？難しいとしたら、どこが難しいのでしょうか？	第12講	日本語の音声（第6講）	外国人学習者にとって難しい日本語の発音は、どういったものでしょうか。なぜ難しいのでしょうか。
第5講	言語としての日本語（第2講）	他の言語と比較して、日本語のルーツ、属する類型、日本語の持つ特徴を考えましょう。 1. 性と数 2. 情報の後置性 3. 主語の省略	第13講	日本語の音声（第6講）	アクセント、イントネーションについて。共通語と群馬方言のアクセントはほとんど同じですが、違うものはありますか。またアクセントは何のためにあるのでしょうか。
第6講	言語としての日本語（第3講）	外国人学習者にとって習得が難しい、「省略」について考えます。	第14講	日本語の音性（第7講）	母音の無声化等、より日本語らしく聞こえる発音の方法について考えます。
第7講	日本語の音声（第1講） 声を出してみよう！	今まで日本語の「音声」について学習したことはありますか？褒められたこと、また注意されたことはありますか？コミュニケーションの方法は「音声」だけでしょうか。また「声」を出すとはどういうことでしょうか。	第15講	まとめ	講義全体を振り返る
第8講	日本語の音声（第2講）	日本語の50音といいますが、実際に日本語の音は50音でしょうか？また50音を学ぶ意味は日本語母語話者と、日本語を外国語として学ぶ人との間で違いがありますか。	定期試験		
評価方法		レポート30%（毎講義後、提出する出席票の意見・感想もレポートに含めます）試験70%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 高見沢孟監修 アスク出版			教えるための言葉の整理 vol1 丸山敬介 凡人社		